

基本事項

① 論述的文章の読み方

論述的文章とは筆者の主張や意見を軸に、筋道立てて説明する文章のこと。その読解で大切なのは筆者の主張・意見や説明される事柄を的確に理解することである。そのために、指示語の内容(指示内容)の正確な把握や、接続語による文章展開や前後の関係の捉え方が重要になる。

(1) 指示語が指す内容(指示内容)の捉え方

- ・ 指示内容は基本的に指示語より前にあることが多い。文章を読み進めながら一つずつ正確におさえよう。
- ・ 実際に指示語を指示内容に置き換え、文意が通るかを確かめる。

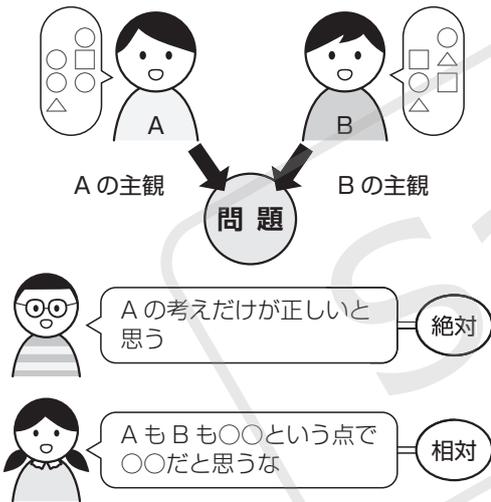
(2) 接続語に注意し、文と文との関係や話題の変化を意識しながら読む。

- ・ 順接…前の内容が後の内容の順当な原因・理由・きっかけなどになる(だから・したがって)
- ・ 逆接…予想されるものは逆の、矛盾・対立した内容が後に続く(しかし・だが・けれども)
- ・ 並列(立)・累加・添加…前後の内容を並べたり付け加えたりする(そして・さらに・かつ・また)
- ・ 選択・対比…前後の内容を選択したり比較したりする(あるいは・または・もしくは)
- ・ 説明…例や理由などを挙げて前の内容を説明・補足する(つまり・なぜなら・たとえば)
- ・ 転換…前の内容とは別の話題に転換する(ところで・さて)

② 哲学・思想

論述的文章の筆者には学者や評論家と呼ばれる人が多く、専門用語を用いて文章を書くため、彼らの主張や意見はときに独特かつ抽象的な言い回しによって表現される。よって解釈には、文章中の様々な用語(キーワード)をいかに理解しているかが鍵となる。キーワードとしてよく出てくる言葉の意味を身につけると、多くの文章をスムーズに読解できるようになり、筆者の主張も捉えやすくなる。

哲学・思想分野の文章には概念的な用語が多く、さらに筆者によっては独自の意味を加えることもある。その場合は定義やヒントが示されているはずなので、文章中での用いられ方に気をつけて注意深く読もう。



フニンスα

↓ 名詞を修飾する指示語(「その理由」「この原因」など)の指示内容が問われた場合は「理由」「原因」など、名詞を含めて考える必要があるので注意。

↓ 接続語の空欄補完問題で迷った場合は、同じ種類の別の接続語に置き換えてみることも一つの手段。

↓ 覚えておきたい類出キーワード

- ・ 相対：他との関わりによって存在すること。
- ・ 絶対：他と関わりなく、それ自体で存在すること。

・ 人間(中心)主義：人間性を尊重・称揚し、真理や価値を神ではなく人間に見いだす考え方。ヒューマニズムとも。

・ ア・プリオリ：より先なるものからの意で、経験や事実^{経験}に先立つ条件のこと。先天的。

・ ア・ポストエリオリ：より後なるものからの意で、経験に基づくこと。後天的。

・ カオス：天地形成以前の原初の状態。物事が入り混じり区別がつかないさま。混沌^{こんとん}。

・ コスモス：整然とした統一^{統一}体としての世界。物事が調和し道筋が整っているさま。秩序。

・ パラドックス：① 一見、不合理で矛盾するようで、実は一種の真理を言い表す表現。例急がば回れ。② ある命題とその否定命題

が共に成り立つと結論される矛盾する命題。

例題

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（鷲田清一「へひと」の現象学」による）
10

5

問一 [A]・[B]に入る接続語として最も適当なものを次のア～オから一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア しかし イ すなわち ウ ゆえに エ なぜなら オ そのうえ

[A] [B]

問二 ——線①「ここ」が指す内容として最も適当なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 人間 イ 尊厳 ウ ヒューマニズム
エ 人権 オ 思想

[]

問三 ——線②「アプリオリに存立しているのではなく」とはどういうことか。「何が（は）」という点を明らかにして説明せよ。

[]

問四 ——線③「それ」が指す内容として最も適当なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 「人権」という観念 イ 固有の尊厳 ウ 人間的という概念
エ アプリオリなもの オ 奇妙な性格

[]

重要語句

◇ヒューマニズム（人間主義）…人間性を尊

重・称揚し、真理や価値を神ではなく人間

に見いだす考え方。

◇審級…次元、段階、レベル。

◇概念…個々の対象から共通の性質を取り出

して、複数の対象を包括的に把握できる言

葉で言い表したものの。

◇アプリオリ…より先なるものからの意で、

経験や事実在先立つ条件のこと。先天的。

◇存立…存在し、成り立つこと。

◇根源的…ある物事を成立させる大もとであ

るさま。根本的。

◇主体…意志や判断に基づいて行為するもの。

↓客体。主体の認識を主観という。

ヒント

問一 接続語は文脈を踏まえて前後の内容

の関係を考え、適切に表現できるものを選ぶ。

問二 指示内容は、指示語以前にあること

が多い。またその内容を指示語と置き換え

ても文意が通るか確かめることも大切。

問三 抽象的な表現を自分の言葉で説明す

る問題。「アプリオリ」「存立」は語意を踏

まえ「先天的」「存在」などと言い換える。

「存立」が「構成」と対になる形で用いら

れていることにも注目。また「何が（は）」

にあたる部分は直前二文から探す。

問四 指示内容を考える点で問二と同様だ

が、傍線部を含む一文がとても長いので、

広い範囲に目を配る必要がある。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。(1～10は段落番号である。)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(野矢茂樹「語りえぬものを語る」による)

75 70 65 60

問一 — 線(a)～(e)のカタカナは漢字に改め、漢字は読みをひらがなで答えよ。

- (a) 「」 (b) 「」
 (d) 「」 (e) 「」 (c) 「」

問二 ACに入る言葉として最も適当なものを次のア～オから一

つずつ選び、記号で答えよ。

- ア つまり イ 例えば ウ だが エ もちろん オ ゆえに

- A 「」 B 「」 C 「」

問三 — 線(i)「ある人」(ii)「その人」(iii)「ある人」の主義主張として最も適

当なものを次のア～カから一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 寛容な絶対主義 イ 不寛容な絶対主義 ウ 個人的寛容主義
 エ 寛容な絶対主義 オ 普遍的寛容主義 カ 不寛容な絶対主義
 (i) 「」 (ii) 「」 (iii) 「」

問四 — 線①「こんな申し出」の具体的な内容を、「という申し出。」に続

く形で、本文中の言葉を用いて二十字以内で説明せよ。

| | |
|----------------------|----------------------|
| <input type="text"/> | <input type="text"/> |

という申し出。

問五 寛容主義のパラドクスを説明した次の文のa・bに入る語句

を、本文中からそれぞれ三字以内で抜き出して答えよ。

すべてのことに対し寛容であろうとする寛容主義は、そうあるべきだと
 説く時点でaな人に対してaとなり、また自身の寛容さに対す
 る他人のbに対してaとなるため、完璧に寛容であり続けるこ
 とはできない。

a

b

問六 本文の内容に合致するものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 絶対主義者であっても自分と異なる他人の趣味を認めるとは限らない。
 イ 肉食系宗教家は自らの宗教が絶対的に正しいと考える点で不寛容である。
 ウ 絶対主義と寛容主義とは同一人物の主義主張として両立しない。
 エ 人間は人それぞれの主張を認める草食系絶対主義者であるべきだ。

「」

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 池内了「宇宙論と神」による

(注) 世界巨人：自身の体から物質世界を生み出したとされる神話上の原初人。両眼か

ら日・月を生み出した日本神話のイザナギなど。

宇宙卵：物質世界を生み出したとされる神話上の巨大な卵。

問一 A・Bに入る接続語として最も適当なものを次のア～オから

一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア つまり イ しかし ウ たとえば
エ また オ ところで

A [] B []

問二 Iに入る語句として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、

記号で答えよ。

- ア 一視同仁 イ 玉石混淆 ウ 千差万別 エ 同工異曲

問三 線①「それ」が指す内容を本文中から抜き出して答えよ。

問四 線②「現代の宇宙論に通じる側面」とあるが、それはどのような側

面か。最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 有が発現するきっかけは完全な無の中に備わっていると考える側面。
イ 「色」と「空」が共存する逆説的空間はないことを前提とする側面。
ウ 無から秩序を有へと転移するための空間という存在から定義する側面。
エ 混沌から秩序を創り出すための起源が自然となっているという側面。

問五 線③「それ」が指している内容を、本文の表現を踏まえながら自分

の言葉で説明せよ。

問六 筆者の主張に合致するものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 宇宙の解明に必要なのは現代科学の進歩で失った自由な想像力だ。
イ 多様で創造性に富む神話が示す自然観は、科学とは相容れないものだ。
ウ 自然破壊が進む現代において科学ができることを考える必要がある。
エ 科学という秩序が神話という混沌から生まれたと理解する必要がある。